

レファレンスだより 2022年2月号 No.231

福岡市総合図書館 図書サービス課 図書資料係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンスサービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。

■レファレンス受付件数(2021年11月分)

参考	人文	社会	自然	郷土・文書
47	1084	216	186	213
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
318	19	465	1276	3824

(開館日 23日 一日平均 166件)

今月の特集!



節分あれこれ

🐱 今月は「節分」をテーマに
図書館の本を紹介します。

狂言

狂言の「節分」ってどんなお話?

節分の夜、蓬萊の島の鬼(シテ)が豆を拾って食べようと、日本へやってきます。鬼は、夫が出雲大社へ年ごもりに出かけ一人で留守番をしている女の家を訪れ、美しい女を好きになり、言い寄るのですが…。

参考

『狂言ハンドブック 第3版 : 「狂言」のすべてがわかる小事典』(小林 責/監修 油谷 光雄/編 三省堂 2008年) p170「節分」より引用:「鬼が美女に恋して、すっかりしてやられるという設定。(中略)鬼を見て逃げる女に驚いて自分も一緒になって逃げたり、女に邪険にされて泣き出したりといった、鬼の人間臭い行動が笑いを誘う。」

落語

「節分」

以前は大晦日に勘定が取れないときには節分にもらうという習慣があった。借金を払えない夫婦がいかにもやり過ぎか、というお話。

「厄払い」

与太郎が毎日ぶらぶらしているの、伯父が節分の厄払いをやらせることにした。さてどうなることやら。。。

参考

『古典・新作落語事典』
(瀧口 雅仁/著 丸善出版 2016年)

●こちらもどうぞ、読む節分!

- 『鬼の絵草子 その民俗学と経済学』(南 清彦/著 叢文社 1998年)
- 『鏡花全集 巻1』(泉 鏡太郎/著 エムティ出版 1994年) p343-376「鬼の角」
- 『おにたのぼうし おはなし名作絵本』
(あまん きみこ/ぶん いわさき ちひろ/え ポプラ社 1969年)
- 『おにとふくのかみ 復刊紙芝居冬もぼかぼか行事とおはなし』
(千田 一彦/脚本 福田 庄助/絵 童心社 2015年)



🐱 展示のご案内 「図書館でねこ歩き」



2月は総合図書館館全体で猫に関係する本を展示します。猫が登場する本や小説、挿絵が美しい本、写真集など猫の魅力が館内に溢れます。これまで立ち寄ったことのないコーナーも、是非、お気に入りの猫を探して巡ってくださいね。

今月のレファレンス事例

質問:カミーユ・サン・サーンスのオペラ「ヘンリー八世」のあらすじが載っている資料が見たい。



回答:以下のような資料があります。



- ① 『シェイクスピア劇のオペラを楽しもう』(福尾 芳昭/著 音楽之友社 2004年)
閉架書庫 766.1/7
P205 全4幕記載あり。
- ② 『世界史でたどる名作オペラ』(西原 稔/著 東京堂出版 2013年)
1階ボ63 766.1/ニ
P253 4幕のみ記載あり。
- ③ 『歌劇大事典』増補版(大田黒 元雄/著 音楽之友社 1983年)
2階C13 R766.03/オ
P249 「Henry VIII(ヘンリー八世)」の項目に
サン・サーンスが作曲したこと、
簡単に話の内容が記されている。



④

質問:江戸時代、藩で起きたお金の不正などの事件の話が読みたい。フィクションでもよい。



回答:以下のような資料があります。



●お金の不正についての本

- ① 『百姓の主張 訴訟と和解の江戸時代』(渡辺 尚志/著 柏書房 2009年)
閉架書庫 210.5/7
p173「村人たちの追及は止まらずー不透明な金の流れ」
- ② 『天保世なおし廻状』(高橋 義夫/著 新潮社 2001年) 閉架書庫 913.6/効
p327「賄賂」

●様々な事件についての本

- ③ 『江戸の事件簿 加太こうじ江戸百科 マンボウ・ブックス』
(加太 こうじ/著 立風書房 1979年) 閉架書庫 21/カ
- ④ 『禁断の江戸史 教科書に載らない江戸の事件簿 扶桑社新書』
(河合 敦/著 扶桑社 2020年) 分館所蔵 210.5/カ/ソソソ





質問：鳥人間コンテストに関する本がありますか。写真かイラストも見たい。



回答：以下のような資料があります。

- ① 『鳥人間の本』（読売テレビ放送株式会社／編 東京書籍 2000年）閉架書庫 538.6/ト
第24回鳥人間コンテスト大会記録、鳥人間コンテストの概説、過去参加者のコラム、および過去23年間の全記録記載があり、写真も多数掲載がある。
- ② 『ぼくらが鳥人間になる日まで』（正本 ノン／共著 丹内 友香子／共著 ポプラ社 2000年）
分館所蔵 53/7
鳥人間コンテスト参加に向けて人力飛行機作りにかかる中・高校生たちの日々を綴った自由の森学園・人力飛行機部15年の記録。写真も多数掲載がある。
- ③ 『潮 2005年10月号』 月刊誌（潮出版社 2005年）閉架書庫
p148-153に「話題レポート 鳥人間コンテストで創価大学が新記録優勝!」（木下栄一/著）の記事があり、コンテストの概要説明や参加経緯の記載があり、機体等の写真もある。
- ④ 『トリガール!』（中村 航／著 角川マガジズ 2012年）1階 57 913.6/ナカ
鳥人間コンテストに夢をかける学生たちを描く小説。鳥人間コンテストについて小説の形式ながら参加者側からの視点で描かれている。
挿絵として鳥人間コンテスト会場、人力飛行機のイラストがある。
- ⑤ 『プロジェクトX 挑戦者たち 21 成功へ退路なき決断』
（NHKプロジェクトX制作班／編 日本放送出版協会 2004年）閉架書庫 210.76/フ
p6-11に”運命の滑走～日本初人力飛行機に挑む”の章があり、日大の学生達が日本初的人力飛行機誕生に挑む内容で、人力飛行機の写真があり、p66に「・・・取り組みにテレビ局が賛同し、いまでも続く『鳥人間コンテスト』の企画も生まれた。」と記載がある。
- ⑥ 『プロジェクトX 挑戦者たち [28] : コミック版 運命の滑走』
（NHKプロジェクトX制作班／原作・監修 宙出版 2005年）分館所蔵 210.7/フ/マンガ
上記⑤のコミック版。

*インターネット情報：鳥人間コンテストに関して、主催の読売テレビHP>鳥人間コンテスト2022ではお知らせや大会の歴史等が閲覧できる。<https://www.ytv.co.jp/birdman/> [最終確認日：2022.1/7]



質問：長崎の作家、橋本白杜氏の小説「天道花」を読みたい。



回答：全国の公共図書館、大学図書館及び国立国会図書館にも橋本白杜氏の『天道花』という本の所蔵はなく、出版されていない可能性が大きい。

- ・『長崎べつ甲物語』（橋本白杜／著 第一法規 1981年）閉架書庫 913.6/ハ/
奥付にある著者筆歴に「昭和48年『天道花』小説・夕刊フクニチに連載百回」とあり、昭和48年に夕刊フクニチ新聞に連載された模様。
- ・『光芒!フクニチ新聞』（フクニチOB会／編 葦書房 1996年）閉架書庫 070.67/コ/
橋本白杜氏の「天道花」に関する記述無し。

<新聞>

- ・「夕刊フクニチ新聞」（マイクロフィルム）
昭和48年の新聞には橋本白杜氏の『天道花』の連載は無し。昭和49年1月1日より連載が始まり、同年4月30日まで連載が終了（全111回）。



今月の一冊!

『食のことば由来事典 食材・料理・飲み物』

(ジョン・エイトウ/著 石川久美子/訳 柊風舎 2021年) 2階D7 R383.8/E/

季節は冬真ただ中ですが、秋の実りの季節を経て温かくておいしいものが私たちの食卓に賑わいをくれる季節でもあります。グローバル化の中で、ありがたいことに食材のバリエーションとしての豊かさには恵まれているのかもしれませんが、世界中の食べものが私たちの食卓をいろどってくれていますが、珍しいもの、初めて出会ったものをいただく時に、「これはどこからきたのだろう?」と気にとめることも、食の豊かさのもうひとつのかたちだと思います。そんな時や、日ごろの食習慣や食文化などで、ふと気になることを調べたい…そんな時に、使ってみたい事典です。

「その食べ物がいつ、どこから、どんな言語で伝わり、人々にどう受け入れられて変化し、現代に至ったのか、ことばのルーツを通して世界の食文化を味わう!」(巻頭の見返しより)と紹介され、2500を超える食に関することばが集められています。

使ってみました→節分と関係することから…『大豆(soya bean)』を調べてみました!

北アメリカでは、「soybean」ともいい、経済的に非常に重要な存在であること、最近では代用肉として西洋の食の鍵をにぎることがまず紹介されています。昔から、豆乳や豆腐なども作られてきたことも明記され、発酵されて作った調味料のひとつ醤油についても言及されています。「醤油」が広東語の「shiyau」から借用され「shi-調味料として使われる塩漬けの豆」と「yau-油」の合成語であること。また、西洋でも、17世紀からその存在を知られていることなど、「大豆」をめぐる興味深い情報が満載です。



総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号
人 文	ジャーナリズムの倫理	山田 健太/著	勁草書房	070.15/ヤ
	優しい語り手 : ノーベル文学賞記念講演	オルガ・トカルチュク/ [述] 小椋 彩/訳	岩波書店	904/ト
社 会	香港政治危機 : 圧力と抵抗の 2010 年代	倉田 徹/著	東京大学出版会	312.22/ク
	格差の自動化 : デジタル化がどのように貧困者をプロファイルし、取締り、処罰するか	ヴァージニア・ユーバンクス/著 ウォルシュあゆみ/訳	人文書院	369.2/I
自 然	発酵食品の歴史 : ビール、パン、ヨーグルトから最新科学まで	クリスティーン・ボームガースバー/著 井上 廣美/訳	原書房	588.51/ホ
	「木」から辿る人類史 : ヒトの進化と繁栄の秘密に迫る	ローランド・エノス/著 水谷 淳/訳	NHK 出版	652/I



今月の展示 ~総合図書館2階 主題別(専門書)・国際・国連 展示のご案内~

毎月5つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

《人文科学》

演 劇

《社会科学》

コロナ以降の社会

《自然科学》

人と動物
~豊かな共生のために~

《国 連》

I♥Cat!(I Love Cat!)

「図書館でねこ歩き」企画展示

《IF RCI》

あなたに知ってほしい
がんのこと

《国 連》

SDGs 12

「つくる責任 つかう責任」